

すべての「王室」およびヨーロッパのいわゆる「高貴な」名家は、過去及び現在に渡って300人委員会に席を占めている。ほとんどの場合は代表を指名して送り込む。たとえば、ホーエンツォレルン家はケント公エドワード、ブランガザス家はヨーク公、という具合だ。「王家につながる」ファミリーすべてを300人委員会の席に座らせるには、なんといっても数が多すぎるのだ。しかし覚えておくべきは、序列だ。一番上は王家のメンバー、その下は公爵、侯爵、伯爵、卿とつづき、一番下には「庶民」が来る。

(ジョン・コールマン博士『新版 300人委員会』)